



【写真説明】
 1. 最後のホームルーム、親子で6年間の思い出を映像で振り返る／2. お世話になった保護者へ花を贈りました／3. 堂々と卒業証書を受け取る卒業生／4. 担任の中山先生との別れを惜しみながらも笑顔で記念撮影／5. 大きな声で「旅立ちの日に」を合唱。式場では思わず目頭が熱くなる人もいました

別れの言葉では「小学校で過ごした時間の半分はコロナの影響を大きく受けました。その中で学んだのはできることを精一杯頑張ることの大切さです。これからさまざまな困難にぶつかることもあるかもしれませんが、未来を信じ、自分の力を信じ、力強く生きていきます」と語り、「旅立ちの日に」を合唱。家族と先生の温かな拍手に送られて退場しました。

過ぎた学び舎 笑顔で別れ

3月23日 津奈木小学校

津奈木小学校卒業式が3月23日(木)に開かれ、卒業生30人が6年間の思い出と中学校への期待を胸に学び舎を巣立ちました。

田尻則幸校長は「皆さんの夢の実現のために重要なことは負けないこと、投げ出さないこと、逃げ出さないこと、自分を信じ抜くこと。1日1日がとても大切になります。自分を、友だちを、家族を、そして時間を大切に、充実した中学校生活を送ってください」とエールを送っていました。



【写真説明】
 1. 共に過ごした友人たちと記念にパシャリ／2. 答辞で3年間の思い出やこれからの抱負を堂々と述べた大園さん／3. 先生や保護者に拍手で見送られ慣れ親しんだ校舎を後にしました／4. お世話になった母親へ感謝の言葉を伝える／5. 船橋校長から一人ひとり卒業証書が手渡されました

未来への希望胸に 前進誓う

3月5日 津奈木中学校

3月5日(日)、津奈木中学校で卒業式が開かれ、39人が新たな道に向けて出発しました。式では、卒業生に卒業証書が手渡された後、船場校長から「入学直前の3月からコロナ禍に入り、行動制限が続いたが、その中で勉強や部活動で素晴らしい成果を挙げた。自信をもってこれからの時代で前に進んでほしい」とはなむけの言葉を贈りました。卒業生代表の大園咲渉さん(浜崎)は「中学生になったらと楽しみにしていたさまざまな行事の中止や規模縮小など、寂しさやむなしさの連続でした。その中でも楽しく豊かな3年間の人間を過ごすことができたのも多くの人の支えがあったからだと思えます。先生や家族への感謝を忘れず、これからも挑戦していきます」と強い気持ちを述べました。

入学以降コロナ禍を過ごしてきた卒業生。それぞれの思いを胸に学び舎を巣立っていきました。